

安芸地域アクションプランの 修正（予定項目）

安 芸 地 域 本 部
令和7年10月29日（水）

安芸地域アクションプランの修正（予定項目）

■修正

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	<p>No. 9 なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進（奈半利町）</p> <p>【実施主体】◎（一社）なはりの郷、◎奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、加領郷フィッシャリーズ、JA 高知県（安芸地区）、なはり浦の会</p>	<p>実施主体の加領郷フィッシャリーズが、事業の継続にあたり、運営方針や役割分担など構成員間で十分な合意形成を図ることが難しくなった。その結果、円滑な事業運営の見通しが立てられず、今後の持続的な活動は困難であるとの判断に至ったため、解散することとなった。</p> <p>そのため、「加領郷フィッシャリーズ」を実施主体から削除するとともに、指標「農水産加工施設の店舗売上高」の出発点及びR9 目標を当該事業者を除いたものに修正する。</p> <p>[出発点 (R4)] (修正前) 2, 132 万円 → (修正後) 1, 712 万円</p> <p>[R9 目標] (修正前) 2, 600 万円 → (修正後) 2, 100 万円</p>
2	<p>No. 19 北川村観光 3 施設を核とした交流人口の拡大（北川村）</p> <p>【実施主体】◎（株）きたがわジャルダン、◎北川村、北川村観光協会、NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会、北川村北部地区「いこいの里」の会</p>	<p>実施主体の北川村観光協会は、任意団体として設立し、主に村の広報業務を担ってきた。その役割に、中岡慎太郎館の管理運営業務を加え、北川村の過去・現状及び文化や観光にとどまらない村の未来に向けた取組を村内外に伝える安定的な組織をつくるため、新たに（一社）北川村文化観光公社を令和 7 年 3 月 27 日に設立した。</p> <p>そのため、「北川村観光協会」を「（一社）北川村文化観光公社」に修正する。</p>

修正項目(案)

修正前

安芸地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.9 なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、加領郷フィッシャリーズ、JA 高知県(安芸地区)、なはり浦の会
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターなはりの郷が中心となり、地域食材を活用した特産品の開発・販売を促進して地産外商を強化するとともに、海浜センターや地域資源(生活体験学校等)を活用した体験型観光を推進することにより、交流人口の拡大を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地産外商体制の強化	<(一社)なはりの郷> ・経営改善計画を策定(R2) →うちんくのビジネス塾制度の活用 ・予実管理の徹底など経営意識を醸成(R3) →産振アドバイザー制度の活用 ・「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」会議の開催、経営理念、事業戦略等を策定(R5) →産振アドバイザー制度の活用 <奈半利なんでも市加工グループ(奈半利味噌)> ・施設の増床及び機械の追加導入(H26) →産振補助金の活用 <NCL48(奈半利のおかって)・加領郷フィッシャリーズ(加領郷魚舎)> ・加工施設の整備(H28) →地域づくり支援事業費補助金の活用	【成果】 ・「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」の実施による経営改善及び新事業の検討 ・イチジクの作付面積拡大 H28:0a →R5:33a ・海浜センター体験メニューの充実及び利用客の増加 【課題】 ・人手不足 ・規格外イチジクの有効活用 ・広報不足
一次産業の振興	<(一社)なはりの郷> ・施設の整備及び機械の導入(H29) →複合経営拠点支援事業費補助金の活用 ・備品整備(H29) →集落活動センター推進事業費補助金の活用 ・農作業受託、新規就農者受入等の推進(H29~) ・不耕作地対策事業によるイチジク作付面積の拡大(H29~)	・人手不足 ・規格外イチジクの有効活用 ・広報不足
体験型観光の推進	<奈半利町> ・奈半利町観光基本構想の策定(R元) ・海浜センターの備品(クリア kayak等)を整備(R2) →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・奈半利町観光基本計画・基本設計の策定(R2) →地域観光振興交付金の活用 ・海浜センターの改修及びキャンプサイトの整備等(R3) →地域観光振興交付金の活用	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)物産館無花果の売上高	3,302万円(R4)				5,000万円
(2)農水産加工施設の店舗売上高	2,132万円(R4)	4,516万円			2,600万円
(3)JA加工施設(奈半利味噌)の売上高	843万円(R4)				930万円
(4)奈半利町観光入込数	50千人(R4)				55千人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
関係者の連携による販売商品の充実 ■(一社)なはりの郷 ・関係者の連携による新商品の開発 ・既存商品の磨き上げ ・販売戦略の策定 ・物産館無花果リニューアルについての検討 □県(地域本部等) ・既存商品の磨き上げなどに関するセミナーの情報提供 ・商談会等の情報提供 ・産振補助金の活用、申請支援、補助制度に関する情報提供等	関係者協議	新商品開発、磨き上げ	販売戦略の策定	物産館無花果リニューアルについての検討
特産品の生産強化 ■(一社)なはりの郷 ・農作業指導者と研修生の確保、育成 ・なはりの郷各部門が連携し、イチジクの生産から加工、販売までを実施 □県(地域本部、安芸農振センター等) ・栽培管理指導等 ・各種支援制度に関する情報提供	指導者確保	研修生確保 研修生育成	特産品生産体制の構築	
観光施設、地域資源の活用促進 ■(一社)なはりの郷 ・他団体と連携した体制強化 ・地域資源を活用した新たな体験メニューの検討 ・観光窓口としての物産館の在り方の検討 ・地域おこし協力隊制度を活用した人材確保の仕組みづくり □県(地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供	他団体協議	新たな体験メニューの検討	観光窓口の検討	人材確保の仕組みづくり

安芸地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.9 なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、JA高知県(安芸地区)、なはり浦の会
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターなはりの郷が中心となり、地域食材を活用した特産品の開発・販売を促進して地産外商を強化するとともに、海浜センターや地域資源(生活体験学校等)を活用した体験型観光を推進することにより、交流人口の拡大を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地産外商体制の強化	【(一社)なはりの郷】 ・経営改善計画を策定(R2) →うちんくのビジネス塾制度の活用 ・予実管理の徹底など経営意識を醸成(R3) →産振アドバイザー制度の活用 ・「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」会議の開催、経営理念、事業戦略等を策定(R5) →産振アドバイザー制度の活用 【奈半利なんでも市加工グループ(奈半利味噌)】 ・施設の増床及び機械の追加導入(H26) →産振補助金の活用 【NCL48(奈半利のおかって)】 ・加工施設の整備(H28) →地域づくり支援事業費補助金の活用	【成果】 ・「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」の実施による経営改善及び新事業の検討 ・イチジクの作付面積拡大 H28:0a →R5:33a ・海浜センター体験メニューの充実及び利用客の増加 【課題】 ・人手不足 ・規格外イチジクの有効活用 ・広報不足
一次産業の振興	【(一社)なはりの郷】 ・施設の整備及び機械の導入(H29) →複合経営拠点支援事業費補助金の活用 ・備品整備(H29) →集落活動センター推進事業費補助金の活用 ・農作業受託、新規就農者受入れ等の推進(H29～) ・不耕作地対策事業によるイチジク作付面積の拡大(H29～)	・人手不足 ・規格外イチジクの有効活用 ・広報不足
体験型観光の推進	【奈半利町】 ・奈半利町観光基本構想の策定(R元) ・海浜センターの備品(クリアカヤック等)を整備(R2) →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・奈半利町観光基本計画・基本設計の策定(R2) →地域観光振興交付金の活用 ・海浜センターの改修及びキャンプサイトの整備等(R3) →地域観光振興交付金の活用	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)物産館無花果の売上高	3,302万円(R4)	3,973万円			5,000万円
(2)農水産加工施設の店舗売上高	1,712万円(R4)	1,861万円			2,100万円
(3)JA加工施設(奈半利味噌)の売上高	843万円(R4)	852万円			930万円
(4)奈半利町観光入込数	50千人(R4)	52千人			55千人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
関係者の連携による販売商品の充実 ■(一社)なはりの郷 ・関係者の連携による新商品の開発 ・既存商品の磨き上げ ・販売戦略の策定 ・物産館無花果リニューアルについての検討 □県(地域本部等) ・既存商品の磨き上げなどに関するセミナーの情報提供 ・商談会等の情報提供 ・産振補助金の活用、申請支援、補助制度に関する情報提供等	関係者協議	新商品開発、磨き上げ	販売戦略の策定	物産館無花果リニューアルについての検討
特産品の生産強化 ■(一社)なはりの郷 ・農作業指導者と研修生の確保、育成 ・なはりの郷各部門が連携し、イチジクの生産から加工、販売までを実施 □県(地域本部、安芸農振センター等) ・栽培管理指導等 ・各種支援制度に関する情報提供	指導者確保	研修生確保 研修生育成	部門間協議	特産品生産体制の構築
観光施設、地域資源の活用促進 ■(一社)なはりの郷 ・他団体と連携した体制強化 ・地域資源を活用した新たな体験メニューの検討 ・観光窓口としての物産館の在り方の検討 ・地域おこし協力隊制度を活用した人材確保の仕組みづくり □県(地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供	他団体協議	新たな体験メニューの検討	観光窓口の検討	人材確保の仕組みづくり

修正項目(案)

修正前

安芸地域アクションプラン

		分野	観光
AP名 (実施地域)	No.19 北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大 (北川村)		
実施主体	◎(株)きたがわジャルダン、◎北川村、北川村観光協会、NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会、北川村北部地区「いこいの里」の会		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	北川村「モネの庭」マルモッタン、北川村温泉、中岡慎太郎関連施設及び北部地区いこいの里に関する情報発信の強化や、施設間の連携、体験メニューの実施などに取り組むことにより、集客力を高めて、交流人口の拡大を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> 北川村観光協会のホームページ作成 (H28) <ul style="list-style-type: none"> →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 北川村ゆず新聞の発行 (H30~) 北川村ゆずいっばい手帖の発行 (R4) 商品撮影セミナーへの参加 (R4) 「ゆず香る里北川村」ホームページ作成 (R5) 	[成果] <ul style="list-style-type: none"> 北川村ゆず新聞 累計号数：18号 (R7.2) 3施設合計入園(館)者数 H30:94,350人 →R4:110,164人 →R5:129,878人
運営体制の強化と施設の磨き上げ	【モネの庭】 <ul style="list-style-type: none"> フロアホール、小庭園等の整備 (H22,23) →産振補助金活用 カフェモネの家改修 (H28) ポルディゲラの庭オープン (R2) <ul style="list-style-type: none"> →観光拠点等整備事業費補助金を活用 【中岡慎太郎館】 <ul style="list-style-type: none"> エアタイトケースの整備や館内外の設備改修等 (H28) <ul style="list-style-type: none"> →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 感染症対策のためのトイレ改修 (R2) →国交付金の活用 中岡慎太郎先生顕彰会へ指定管理移行 (R4) 【北川村温泉ゆずの宿】 <ul style="list-style-type: none"> リニューアルオープン (H30) <ul style="list-style-type: none"> →観光拠点等整備事業費補助金等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 慎太郎パスポート配布数 R3:752冊→R4:1,478冊→R5:1,500冊 慎太郎パスポート周遊ラリー応募件数 R3:379件→R4:29件→R5:161件
周遊の仕組みづくりと体験観光の強化	<ul style="list-style-type: none"> 1DAYパスポートきたがわさんぽの販売 (H27) 北川村観光施設周遊スタンプラリーきたがわ ALUKU の実施 (H28~R元) きたがわ村慎太郎パスポート周遊ラリーの実施 (R2~5) 観光創生塾受講による観光商品の造成 (R2) きたがわむらマップの更新 (R4) 	[課題] <ul style="list-style-type: none"> 情報発信のスキルアップ 各施設の従業員不足 施設の老朽化 3施設及び周辺飲食店等との連携強化 3施設間を結ぶ交通アクセス 体験メニューの担い手の確保

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
3施設合計入園(館)者数	110,164人 (R4)				111,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
観光情報の発信と情報発信力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、北川村、中岡慎太郎先生顕彰会、北川村観光協会、北川村北部地区「いこいの里」の会 <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を用いた情報発信やイベント等への出展によるPR ・研修会への参加やアドバイザーの活用 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度の活用提案、研修会への参加呼びかけ 				
運営体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、北川村 <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に向けてふるさとワーキングホリデー等の活用を検討 ■(株)きたがわジャルダン、北川村 <ul style="list-style-type: none"> ・モネの庭修繕計画の策定・実施 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度の活用提案、研修会への参加呼びかけ 				
記念事業の計画・実施 <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会 <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業(モネの庭25周年、中岡慎太郎館30周年)の計画・実施 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・各事業の計画・実施支援 				
村内周遊の仕組みづくりと体験メニューの造成 <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会、北川村観光協会、北川村北部地区「いこいの里」の会 <ul style="list-style-type: none"> ・施設間の連携、体験メニューの検討・造成 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度の活用提案、体験メニュー造成における支援 				

安芸地域アクションプラン

	分野	観光
AP名 (実施地域)	No.19 北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大 (北川村)	
実施主体	◎(株)きたがわジャルダン、◎北川村、(一社)北川村文化観光公社、NPO法人中岡慎太郎先生顕彰会、北川村北部地区「いこいの里」の会	
APへの位置づけ	H21.4月	
事業概要	北川村「モネの庭」マルモッタン、北川村温泉、中岡慎太郎関連施設及び北部地区いこいの里に関する情報発信の強化や、施設間の連携、体験メニューの実施などに取り組むことにより、集客力を高めて、交流人口の拡大を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> 北川村観光協会のホームページ作成 (H28) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 北川村ゆず新聞の発行 (H30~) 北川村ゆずいっぱい手帖の発行 (R4) 商品撮影セミナーへの参加 (R4) 「ゆず香る里北川村」ホームページ作成 (R5) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北川村ゆず新聞 累計号数：18号 (R7.2) 3施設合計入園(館)者数 H30:94,350人 →R4:110,164人 →R5:129,878人
運営体制の強化と施設の磨き上げ	<p>【モネの庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> フロアホール、小庭園等の整備 (H22,23) →産振補助金活用 カフェモネの家改修 (H28) ポルディゲラの庭オープン (R2) →観光拠点等整備事業費補助金を活用 <p>【中岡慎太郎館】</p> <ul style="list-style-type: none"> エアタイトケースの整備や館内外の設備改修等 (H28) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 感染症対策のためのトイレ改修 (R2) →国交付金の活用 中岡慎太郎先生顕彰会へ指定管理移行 (R4) <p>【北川村温泉ゆずの宿】</p> <ul style="list-style-type: none"> リニューアルオープン (H30) →観光拠点等整備事業費補助金等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 慎太郎パスポート配布数 R3:752冊→R4:1,478冊→R5:1,500冊 慎太郎パスポート周遊ラリー応募件数 R3:379件→R4:29件→R5:161件
周遊の仕組みづくりと体験観光の強化	<ul style="list-style-type: none"> 1DAYパスポートきたがわさんぽの販売 (H27) 北川村観光施設周遊スタンプラリーきたがわALUKUの実施 (H28~R元) きたがわ村慎太郎パスポート周遊ラリーの実施 (R2~5) 観光創生塾受講による観光商品の造成 (R2) きたがわむらマップの更新 (R4) (一社)北川村文化観光公社の設立 (R7) 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信のスキルアップ 各施設の従業員不足 施設の老朽化 3施設及び周辺飲食店等との連携強化 3施設間を結ぶ交通アクセス 体験メニューの担い手の確保

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
3施設合計入園(館)者数	110,164人 (R4)				111,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>観光情報の発信と情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、北川村、中岡慎太郎先生顕彰会、(一社)北川村文化観光公社、北川村北部地区「いこいの里」の会 ・SNS等を用いた情報発信やイベント等への出展によるPR ・研修会への参加やアドバイザーの活用 □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度の活用提案、研修会への参加呼びかけ 				
<p>運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、北川村 ・人材確保に向けてふるさとワーキングホリデー等の活用を検討 <p>モネの庭修繕計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、北川村 ・モネの庭修繕計画の策定・実施 □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度の活用提案、研修会への参加呼びかけ 				
<p>記念事業の計画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会 ・記念事業(モネの庭25周年、中岡慎太郎館30周年)の計画・実施 □県(地域本部等) ・各事業の計画・実施支援 <p>村内周遊の仕組みづくりと体験メニューの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会、(一社)北川村文化観光公社、北川村北部地区「いこいの里」の会 ・施設間の連携、体験メニューの検討・造成 □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度の活用提案、体験メニュー造成における支援 				